

週寫眞 報

編輯部報情閣内
ンセ十・號六十五第・日五十月三

昭和十四年三月十五日 第三編 昭和十四年三月十五日發行 (第一號) 第五十六號

日本の懷に抱かれて



支那 事變

助蕃債券

賣出期間 四月五日—三月二十日—マデ



四百五金増割等 一 田五枚一
行銀業勸本日 省藏大

「東亞新秩序運動週間」第一日！留日華僑は現地で行はれたこの週間に呼應して新東亞建設に華僑も協力せよと三月三日九段軍人会館で「華僑大會」を開催した。

現在の國際情勢からみると中國は頼むに足らぬ歐米を頼み親しめないソ聯と親しみ、最も親しみ頼らなければならぬ日本と相争つたことは最も拙劣な策をとつたものである。國民政府が大言壯語コミンテルンの傀儡となつて抗日戦をした結果、人民は妻子を離散し、轉々として安住の地を失ひ、共匪は各地に跋扈し暴虐の限りを盡してゐる。この混沌とした状態の繼續は中國を滅亡に導くものである。今や東亞新秩序の建設に向つて眞剣に考ふべき秋である。今やこれは同大會で述べられた留日華僑の東亞新秩序建設に協力する力強い叫びであつた。

東亞新秩序建設運動華僑大會



さきにわが國は滿洲國の發達をたすけ世界史に新しい一頁をつくつた。建國七年日滿の固き防共の陣營は確固不拔である。また日支事變發生以來帝國が戰場に幾多の貴き生靈を喪ひ、多くの國帑を費してなほ聖戰を續けてゐるものは隣邦支那を歐米、ソ聯の植民地化から救ひ完全な獨立國家とし眞に日滿支を樞軸とした東亞永遠の平和を希ふからである。からした帝國の對支方針は近衛前内閣によつて數回にわたつて中外に聲明され、またその眞意は平沼現内閣の踏襲してゐるところである。最近帝國の眞意に醒める者漸く多く、濶くとして起つて來た共同意識——日滿支三國は政治、經濟、文化等各般にわたつて相互連環の關係にたち、東亞における國際正義の確立、共同防共の達成、新文化の創造、經濟結合の實現に邁進し東亞新秩序建設に協力しようといふ機運は根強いものがある。

今や蔣政權は奥地に逃避し全く一地方政權と化しながらなほも焦土抗戦によつて善良な支那民衆の生活を破壊し、第三國を利用しようとして却つて國を賣りつゝあるのである。この頑迷なる國民政府を相手とせず、新しい建設の營みは附々として進められて行く。東亞新秩序の建設——これは曠古の大事業であり、日滿支を始め東洋諸民族に課せられた大きな課題である。

この時において留日華僑の東亞新體制樹立の實際運動と支那民衆の間から翕然と叫ばれて來た東亞新秩序建設協力の聲はこの空前の偉業完成に力強い拍車をかけるものである。

撮影 内閣情報部



華僑に興亞の春

横濱



横濱の南東街に賑わいとして語る五色旗の下、三千の華僑は、暖かい日本人の庇護に依つて平和に、改々として生活を営んでゐる。明るい双瞳を輝かせ、更生支那の發展を心から祝福するにつけても、思ひ出さるゝは職場に働く故國の同胞達である。彼等はさげふ「故國の兄弟よ！ 永遠に苦惱から救はれる道は、東亞新秩序の一種として新しい中國を建設するにある」

撮影 内閣情報部



「故國の陳さんや、孫さんはどうしてゐることだらう。あの息子さん連もお前と丁度同じ年恰好だつたが、語る母親は遠く故國を偲んでゐる。藤橋子造りの平和な一家に春は訪れてゐる。」

「私どもは輸出業者で、日本商品を運じて世界各地の華僑に日本の良さを宣傳してゐます。そういふわけで製造元の方にも勉強をお願いしまして。」接待係りの結城は商賣上手である。



少女等が結ぶ日華親善風量。「私等は仲良くして東亞の姉妹となりませう」横濱市青町愛國少女演習會式に交はした少女の舞子は日華の愛心を堅く結びつける。

障子に貼られた「週年平安」の赤紙は新しい年を飾る華僑の正月風景である。狭いながらも遠く國外で味入のお正月（舊正月）は一入の趣きがある。おやつに卓を囲む一家は安居の微笑に和かである。

「よくお出で下さいました。粗茶ですが、どうぞ」心待ちにしてゐた日本のお友達を迎へ劉夫人は喜びに満ちてゐる。五色旗の下に日華の婦人は心から語り、春陽差す畳の上は日華親善の明るい光に照りかゞやく。





5



濟南に聴く 建設の響き

山東省の東部に位置する濟南は、黄河の支流である小清河の畔にあり、海軍の要港として、工業の取柄も亦に城外の小河沿いに発展する光景を一杯りて見物に堪ふる事もある。建設に熱かれた濟南、建設された濟南、建設の響きに聞かせる方々の熱意、建設の正途に心懸した土民、建設がわが重鎮と努力、建設の手に任せしむるは新生大國への行進である。

- 1 土民、師範兵で組織された工程隊、新しい東亞の黎明にスコップを打込む勢揃ひ。
- 2 シヤベルに盛られる土塊は東亞新體制の礎石となり、和平に思む大濟南の誕生である。
- 3 あの橋は壊れてしまつた。俺も困る、俺が困るんだ。木は削られ架橋工事は進む。
- 4 「ヨイン」「ヨイン」わが工兵隊の指導でかけ聲も日本流に、気合もびつたり、架橋木材切り工程隊は汗ばむ。
- 5 濟南の發展は城外の道路から。野原に刻された道路の建設工事は進む。兵部隊長族に濟南の春は微笑む。



大陸に 勇士のお手傳



前線の重軍將兵に対する心からの感謝と、燃えるやうな情熱の赤誠から直撃現地の軍役奉仕に身を捧げ、たとへば短期間でもが勇士の御手傳ひをした。一月二十九日勇躍大陸に向つた大阪府下青年學校生徒からなる大阪府青年軍役奉仕隊一行三百名は、鎌定の過り上海、南京、蚌埠、蕪湖の各地で青春らしい真心溢れる慰問と、軍需品の運搬、道路の修繕、兵舎内の炊事、整理等に力の限り熱意をこめての軍役奉仕をつづけ、二月二十六日、大陸への旅も元気に一行は堂々大陸に歸還した。

戦地ではわが將兵がどんな勞苦と闘ひつゝ大陸建設に従事してゐるか、新聞やラジオやニュース映画などでは見聞きしてゐても、はじめてそれを身を以て知つた體験は貴い。いま感激に満ちて歸還した若人たちが、この現地でのみ得られる貴い體験を今後の戦後長期建設戦へ生かしての活躍が大いに期待される。

戦後青年代表の名譽を授つて感謝と報謝の軍役奉仕に燃々しくも遂々大陸の勇士を踏んだ一行は、いま旅費雖然南京に到着した。

敵が無様に破壊していつ大道路や橋梁の修理に泉軍將兵は、いまま非なる努力を拂つてゐる。青年奉仕隊は勇士の勞苦を思ひながら茶種材料の運搬を手傳つた。

南京の水の門戸、下関には南京建設のための軍需品が莫大に陸揚げされる。奉仕隊の一部は、いま類の勇士に指揮をうけつゝ石炭の陸揚作業に従事する。



陸揚げして山と積まれた食糧品を夫々の部隊へ運搬配給することは兵站部隊の勇士にとつて中々骨の折れる仕事である。今日は僕等の手で兵隊さんの食糧を感謝で一杯の心が重い荷物を懸命に運ばせる。

上海プレス・ユニオン



内地から届いた濡かい慰問文や慰問品、戦地の勇士が抱里へ書きあくる便りや野戦郵便局はどつたがへしてゐる。待つ人へ持たれる品を、手紙を一時も早くと奉仕隊は懸命に働きつける。

折角届いた慰問品は包装不完全のためかすつかり傷んでゐる。第一線で待つてゐるであらう勇士のことを考へて、奉仕隊員は汚れた荷物も書き直す。



今日は健康診断、身体検査表を一枚づつ持つて、日本の看護婦さんのはかづてくれる蓋秤を珍らしさうに眺め入る。

日本の懐に抱かれて

隣邦の孤兒は育つ大阪悲田院



↑ 四天王寺悲田院は昨年復興新築されたばかり、家を失つた孤兒の隣邦の子供たちにこの美しい慈愛の家が與へられた。いま昇る旭日に高々と掲揚される日童旗と五色旗に小さい胸をきりしめる。

子供たちは毎朝六時半一齊に起床、国旗掲揚とすませると本堂に集つて保護所主任森田潮庵師の指導で朝の勤行に敬虔なひとときを過す。いま勤行を終つた森田師と、先生の鄭玉君女史と、熊淑真女史(右)

その昔、聖徳太子が大慈大悲の御心に燃えて世の恵まれない衆生のために建立されたといふ大阪府下藤井寺の四天王寺悲田院に、いま抗日支那軍によつて非道にも親を奪はれた孤兒の支那の孤兒が七十名ばかり、温かい日本の情けに抱かれて育てられてゐる。

東亞に新秩序を建設するといふ大業は日本人の力ばかりで成し遂げられるものではない。また支那幾億の無辜の民を不幸の淵に沈淪させたまゝで成就するものではない。われらの心と支那民衆の心とを固く結び、彼等の不幸をわれらの不幸とする日本精神を以てしなければならぬ。事變勃發以來、皇軍は双向ふ敵に對しては斷乎として軍を進める一方、所在に目撃される不幸な民衆に對しては救済と宣撫に能ふ限りの力を盡してきたが、殊に哀れをそよめるものは父母を失つて廣漠たる大

陸に寄進なく彷徨する孤兒の群である。これら多數の孤兒を親代りとなつて引取り、育ててゐるわが宣撫班の努力は深ぐましいばかりである。

こんど大阪に生れた隣邦孤兒愛護會はせめてこれらの哀れな孤兒の幾人かを日本に伴つてきて温かい環境のうちに愛育し、將來新支那建設の中堅人物たらしめよう、このほどまづ北支の各地から五歳以上十歳未満の男女兒約七十名を四天王寺悲田院に收容、今後十一年間の教育を授けることになつた。

元來、孤兒を育てることは難事の中の難事といはれてゐる。殊に言語風俗を異にする支那の孤兒を育てあげるには非常な努力と限りない愛情を以て當らねばならない。が、この努力と愛情は必ずや實を結び、東亞新秩序に加はるべき新しい力を生むであらう。



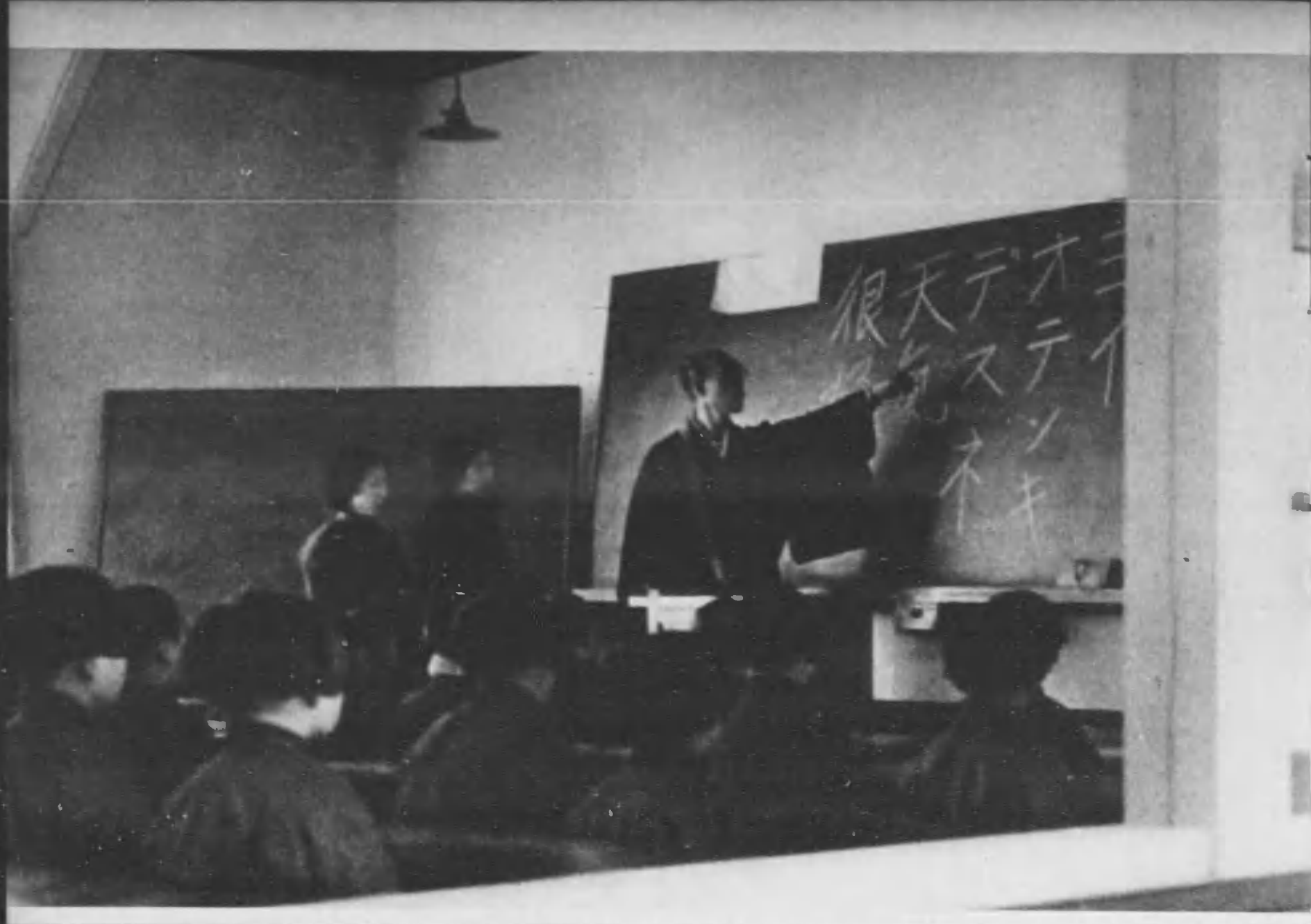
撮影 内閣情報部

↑ 「アーン」と口を開いて、ほろほろ泣いたらう、顔面が一本ある。おちさんがこんど治してやらうね、おちさんの言葉はまだ分らなくても、愛護の真心は通じる。



御飯を頂く前には森田師にならつて小さい手を合はせ感謝の謝辭をいし、わづかな物をも喜び合つて食つたあの頃のことと響かに與へられる今とを子供心にしみくと思ひ比べる。





日本の懐に抱かれて

日本を勉強するにはまづ日本語から。日本語の先生は森田師である。「オ、イ、オ、ア、ン、キ、デ、ス、ネ」明るい聲が窓から桃壇にひろがってゆく。



体操の時間、運動場には機軸もある、肋骨もある。木馬もある。悲しかった頃のことはずつかり忘れて天眞爛漫、叫び聲と笑ひがさわめきあがる。

桃のお節句を迎へてやさしい心づくしの季節りは女の子たちをあつと驚かせた。「まあきれいなにまでしてくれる日本の親切に幼い彼女たちの目は人知れずうるんでゐる。」



ぼか／＼と陽あたりのよい庭に出て先生から日本のお話をいろいろと聞く。桃壇の彼方には松林が美しくつゞいてゐる『日本ついでい所だなあ』子供たちの心は明るい。

近所の日本の子供たちとも仲よしになつた。子供たちは言葉の不自由を越えてすぐ結び合ふ。

『明日あたしのうちへ遊びにいらしやいね』

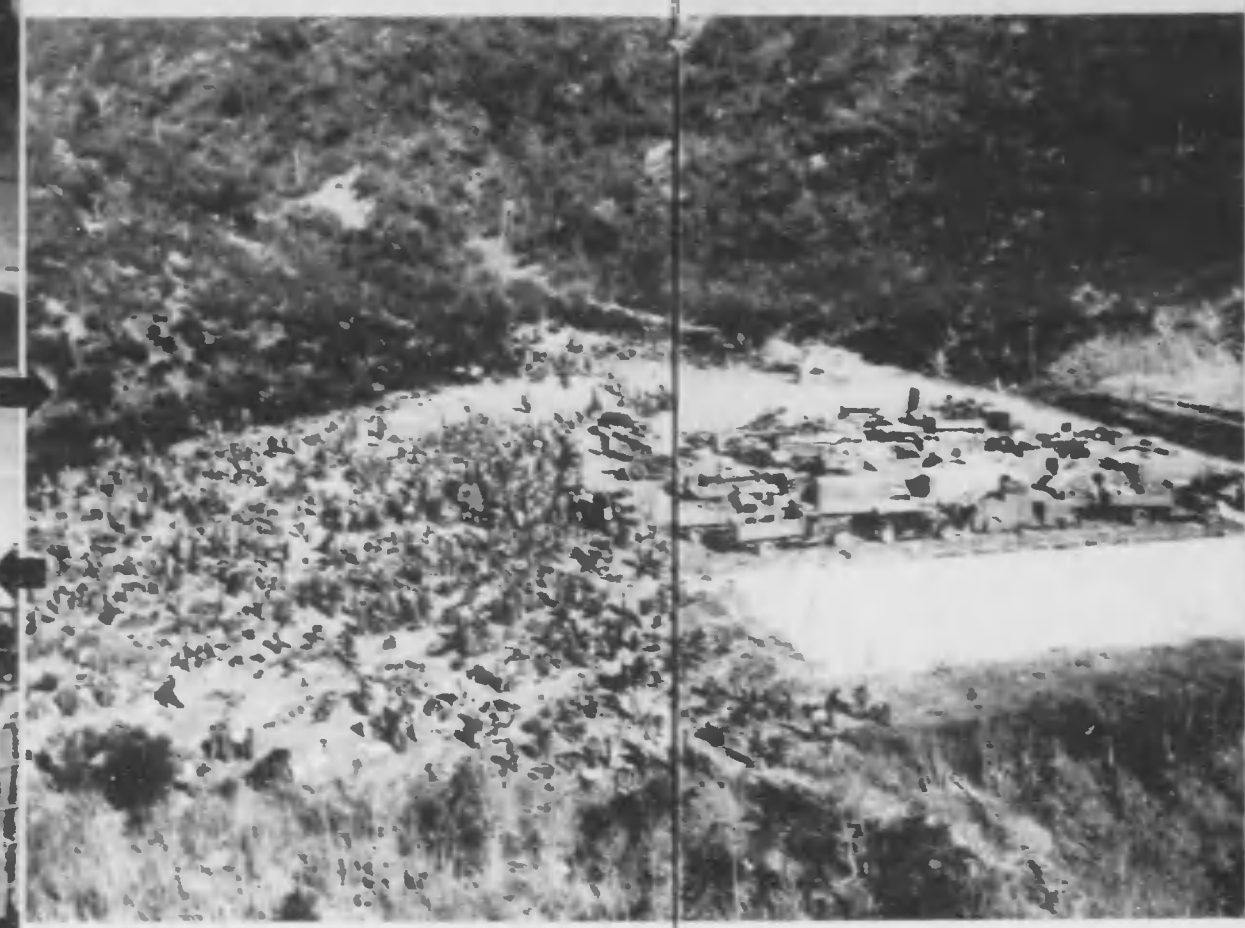
「誰々」



新らしきスペインの黎明來たる

海外通信

スペイン通信・3
 フランコ軍の進軍に士
 氣全く沮喪した約廿萬の
 赤色人民戦線軍は佛西國
 境に追ひつめられ、遂に
 二月五日からカタロニヤ
 州を棄て奮闘の如くフラ
 ンス領に逃入を開始した
 敗残の赤色兵士はフラ
 ンス官憲に一齊に武装解
 除された。



スペイン通信・1
 赤色人民戦線側の支
 配から脱したバルセロ
 ナはカタロニヤ人傳説
 の建設的意志によつて
 再び力強い息吹きをと
 りもどさうとしてゐ
 る。
 無惨に破壊されたバ
 ルセロナの街々も今は
 もうフランコ政府ファ
 ラン隊の指導の下に
 漸々復興への歩みをつ
 づけてゐる。破壊の血

本年一月廿六日のハル
 セロナ陥落を契機として
 人民戦線軍は総崩れとな
 り、實に足かけ四ヶ年ス
 ペインの騒動はフランコ
 政府の赫赫たる勝利を以
 て終末を告げようとして
 ある。
 新らしいスペインの運
 命は又國際情勢に新らし
 い秩序を齎すことになり
 四月九日半島には防共の
 旗かいよ、高く掲げて
 ある。

スペイン通信・2
 フランコ軍快速部隊
 は破竹の勢を以てカタ
 ロニヤ北部地区を席捲
 バルセロナ北方の要衝
 ファイダラスを抜き、二
 月九日遂にビレネー山
 腹の佛西國境レベルタ
 スに達した。

なまぐさい想ひも日々
 にうすれ、春の陽ざし
 にめぐまれながらあた
 たかい珈琲ものめるや
 うになつた。



写真協会



写真協会

ドイツのパラシュート学校

航空学校



快調する飛行機の胸のあたりから次々とび出した黒いものは猛烈な勢で降下したかと思ふとパッパと見事にパラシュートが開いて悠々と降りてくる。



さて足が地に着くと、風をはらんだ大きなパラシュートに曳きつられ、いやう、ぐつと揺る。その揺るにつれ、パラシュートは風を失つて静む。

それと同時に彼等は腰のベルトを素早く外して攻撃の姿勢をとる。いまはまだ丸腰のまゝの練習だが、やがて銃も、機関銃も持つて本格的な訓練練習がはじまることだらう。

パラシュートは航空機乗員の生命の安全を保障するといふ消極的な役割から積極的な攻撃手段としての役割に用ひられるやうになり、現在支那大陸の戦場ではわが航空隊が用ひて功を奏してあるが、(本誌第四十三号「空の兵隊」)更に多兵にパラシュート降下訓練を施してこの部隊を大陸戦場に投入し、一兵に敵の背後に侵入してパラシュート降下させた後、地方を襲撃するといふ所謂パラシュート作戦が研究されてゐる。将来戦に於ける勝利の鍵は攻撃力にあるといふ見解から大空軍建設に邁進してゐるドイツは、この空襲作戦に邁進してその訓練の訓練に乗り出し、空襲する歩兵部隊の為に世界最初の「パラシュート学校」を創設したのである。

これが済むといふ／＼本物の飛行機から飛降りる。びくびくしないであらう。風は勇敢にとび出すのである。背についた紐はパラシュートを安全に開く装置である。飛行機の高さ八百米、速力百六十キロ時。

又パラシュート降下の際には自身の重みと風のためにひどく揺られて苦しいものだ。そのときの準備訓練として天井から吊り下つた綱にぶら下つて揺れの練習をする。



讀者のカメラ
募集規定

- 一、題材 國民精神、勤勞を尊ぶこと、進取の意、徳義、一教にても最も可なり。
- 二、印畫の大きさ なるべく、ヤマト判程度が好ましく、表面に高麗紙、及び住所氏名明記のこと。
- 三、郵切 毎週水曜日、五日以上は賞金を得ず、五、五以上の賞金を得ず、また被寫品は一切返戻せず、部に歸せす。



御神火を迎へる花嫁パレード
宮崎市若切三五郎
紀元節の二月十一日早晩、徳味高千穂を發した御神火を奉迎すべく宮崎市傳統のきらびやかな花嫁行列は船をつけた花飾の馬二十頭に花飾をすらしりとなせ、水雨をばふる街道をシンシン、シンシンと練り歩きつゝ、宮崎神宮に参拜その宮崎夜に入り、燃焼する御神火を奉迎した。

ニッサン

トラック

強いエンジン
木炭車として最適

東京・日産自動車販売株式會社・丸ノ内

雲だるまコンクール
東京市京橋區 加藤 恒
「竹割り祭」華々しく執行
石川縣大藏寺町 堀 砂
日本精神發揚の二月十日天下の奇祭、石川縣、青生石部神社の「祈願神事竹割り祭」は折からの白雪に淨められた裏庭に武運長久祈願のみを乞ふ神々しい人々により華々しく執行された。



☆! 書讀必の下局時——募編局濟經社信通盟同 法社☆

蔣經濟の退路

蔣政權は今や一步西南の農地に邁る運命を迎へるべく、わが國としては應に本腰を入れて長期經營に乗り出すべき段階に到達した。然し乍ら蔣政權が抗日抗戰のため過去一々半世紀に亘つて保つて來た各種の戰時政策、特にその退路を確保すべく懸命の努力を拂つた西南開發政策、特に通少減價すべきでない、蓋し彼の退路は正におもむきを注いで進んで退路を断つるもよし、更にその政策に於けるべき用ふるに足るものあれば、是をこれを利用しての妙案である。この意味に於て蔣政權の戰時經濟政策に此際冷然と再檢討を加へて置くことは緊急重要のことと信する。全編有爲の必讀を希ふものである。

最近の漢洲

最近の漢洲

日本全土の十一倍もある廣大な土地を持つ、豊富な實業を擁してゐながらその開發に一向熱意を示さない、人口一千万人に二人といふ漢洲には、我々が白蓮華の夢を語つて有色人種を一切閉め出している。日本經濟の存続に絶えず自ら注いでゐる。これが漢洲である。漢洲の日本に對する關係は極めて複雑なものである。漢洲が日本を知らぬ如く、われらの漢洲に對する實情も然だ。充分とは云へない。漢洲の實情を知つて置く事は東洋の、やがては安全勢力たるべき日本にとつて極めて肝要な事ではないか。本編は本誌「新シドニー」局長 田治助の著になる現地報告である。讀一讀を乞ふてやまない大傑作である。

(定價各 50銭・送料各6錢)

社 信 通 盟 同 法 社 發行所
(九ノ八西座銀橋京市京東) 番〇〇〇五八京東特鐵

★發 紙
白い狛犬にゆら／＼陽炎が立つて、南京郊外中山陵は長閑である。理智的な額をもつた姑娘がふとカメラの前に現はれてはつと笑つた。彼女はいま電波による新支那建設に戦ひつゝ、ウッシャー嬢であつた。

撮影 内閣情報部

所 達 中	價 定	昭 和
(一) 漢洲 (二) 漢洲 (三) 漢洲 (四) 漢洲 (五) 漢洲 (六) 漢洲 (七) 漢洲 (八) 漢洲 (九) 漢洲	半々年(前) 二圓四十銭 一ヶ年(前) 四圓八十銭 (外) 國外に於ける諸君の半々年分未滿配給御希望の方は一ヶ月分を以て前金を送へば御申込み下さい	昭和十四年三月十五日印刷發行 内閣情報部 東京市町田町 内閣印刷局 東京市町田町

			一日量
6	6	6	
6	6	6	



ハハリハ

兒康健は子む服

潑刺として走る…跳ぶ…遊ぶ

發育盛りの兒童こそ、家の寶、興亞の礎です。病氣知らずの健康兒童を創るには何よりも脂肪性の榮養を充分にしてビタミンA Dを補給し、呼吸器や胃腸の粘膜炎を強め、病菌に對する抵抗力を増強することが大切です。

かやうな目的にハリハが盛んに用ひられます。従来の鱈肝油に比べ數十百倍も濃厚なビタミンAとDとを含む高單位肝油を小豆大の糖衣粒としたもの…一日僅か一二粒、臭くなくお腹にもたれず、肝油嫌ひなお子さまにも永く飽きずに連用出来ます。

錢十五圓二…粒百
錢十五圓十…粒百五

店商邊田阪大・京東

東京週報 昭和十四年二月十一日 第三千四百九十四号 昭和十四年三月十五日發行 (普通) 一回水曜日發行 第五十六號

内閣印刷局印刷發行

(製法「製造」・A4倍縦定規はさ大の書本)